

きずな 第41号

神奈川県障がい者スポーツ指導者協議会 会報

発行 神奈川県障がい者スポーツ指導者協議会
 発行責任者 会長 牛島 秀保
 編集責任者 広報委員長 益田 朋子
 印刷所 貴峯荘ワークピア印刷科

今年度の活動にあたって

会長 牛島 秀保



1964年(昭和39年)にパラリンピック東京大会が開催されてから今年で50年、2020年には東京オリンピック・パラリンピックが

開催されます。これを契機として、日本障がい者スポーツ協会は、障がい者スポーツの将来像(ビジョン)を公表しました。

「障がい者スポーツを通して日本の明るい未来を育む！」として、「活力ある共生社会の創造」の実現に向けて、「競技力の向上(山を高くする)」「社会の活力向上(木をしげらせる)」「スポーツの普及拡大(裾野を広げる)」を目指しており、健常者・障がい者のスポーツの一元化(スポーツ庁等の創設)も掲げています。

このビジョン実現へのアクションプランとして、障がい者スポーツ指導員に関する目標は、①2020年に指導者を3万人に(現在21,500人)、②指導員の活動の場の拡充、

③都道府県の障がい者スポーツ協会の法人化、④全国の市町村での恒常的に障がい者も参加できるスポーツ事業の開催としています。

また、障がい者スポーツ指導員(障がい者スポーツの伝導師)の役割として、サポート面(障がい者への理解、一緒に活動する、活動を支援する)と、指導者面(競技力を高める、組織を構築する、関係団体との連携構築)をあげています。

今年度は、こうしたことを念頭に、当協議会の活動方針である①指導力の向上、②各地域における会員の連帯による活動と親睦の活発化、③県内の障がい者スポーツ事業に対する協力、以上の3本柱のもとに事業を推進してまいりたいと思いますので、皆様の御協力をお願い致します。

また、今回の会則改正において、正式名称が決まった表記(害→がい)について改正を行いました。当協議会の名称を含めた表記方法につきまして、今後検討してまいりますので、手紙(事務局・総務委員長宛)やホームページのメールでご意見をお寄せください!

新役員にあたり

副会長 横川 光雄

この度、神奈川県障がい者スポーツ指導者協議会の副会長を拝命することになりました横川光雄と申します。

副会長と言う「責任」の重さを強く感じております。

今日の急速な少子高齢化社会の進行と社会福祉を取り巻く環境も変化しております。障がい者のスポーツの現状、要望を踏まえ事業のさらなる充実と普及発展並びに障がい者の社会参加の推進に取り組みたいと思います。

現在も研修活動はもとより、広報や各事業、地域推進活動など、各委員会を中心に活動を続けておりますが、これからの各委員会の組織の充実を計り、さらなる活動を続けてまいりたいと考えております。

牛島会長を補佐し本会発展の為、微力ではありますが頑張りますので、皆様方の温かいご支援、ご協力を賜ります様お願い申し上げます。

「副会長として3年目」

副会長 塩澤 哲夫

神奈川県域の障がい者スポーツの振興につきましては、神奈川県障がい者スポーツ指導者協議会員である皆様方のご尽力により、今日の発展に繋がっており、さらに、今回の役員改選における新体制で新たな風を吹き込み、各委員会との連携を深めることで障がい者スポーツの更なる発展に寄与することでしょう。スポーツ活動は、当事者・指導者・審判員・応援者・競技施設と用具等により成立ち、それらの積極的な関わりにより、拡大・進化・発展していくものではないでしょうか。

今後も、会員である皆様方と一緒に身近なところから参加し、そして、障害のある方と共に前進できればと思っております。

<http://kanagawakyougikai.web.fc2.com/>

これまでどおり「きずな」を年2回発行し、期限の間に合うお知らせは同封しますが、郵送料の予算の兼ね合いもありますので、随時ホームページにアクセスして各種研修会や催しについてのご確認をお願い致します。 事務局 赤坂

当協議会のホームページを開設しました!

平成26年度 総会

平成25年度 事業報告

☆平成25年度定期総会 平成25年5月12日(日)
県立体育センター・アリーナ研修室

☆役員会開催

【委員会活動】

★総務委員会

◎委員会開催・・・役員会開催に係る議題の検討、総会開催準備など

★広報委員会

◎会報「きずな」発行・・・第39号〔総会号〕平成25年6月
第40号〔新年号〕平成26年1月

◎委員会開催・・・『きずな』発行に係る編集会議・発送作業など

★競技委員会

◎講習会開催(卓球)9月23日

◎委員会開催・・・講習会開催などに係る打ち合わせ。

★研修委員会

◎講習会開催 11月30日

◎委員会開催・・・講習会開催などに係る打ち合わせ。

【その他(地域活動)事業】

★秦野支部

①秦野市「障がい者スポーツ教室」開催・・・12回

②「秦野市障がい者スポーツフェスティバル」(秦野市より業務委託)

(初)

③秦野市「障がい者フライングディスク大会」共催・・・1回

④支部内指導者向け「資質向上研修会」開催・・・1回

【協力事業】

☆神奈川県障がい者スポーツ大会 (指導者合計:244名)

Table with 6 columns: 月日, 種目, 参加人数, 月日, 種目, 参加人数. Rows include フライングディスク競技, 卓球, 陸上競技(知的), 水泳競技, 陸上競技(身障).

☆「全国障がい者スポーツ大会」コーチ派遣

◎神奈川県選手団個人競技派遣コーチ 8名

◎相模原市 8名

☆「神奈川県初級障がい者スポーツ指導者養成講習会」講師派遣 2名

平成25年度 決算書

Table (収入の部) showing financial data for income items like 前年度繰越金, 一般会費収入, 補助金, etc.

Table (支出の部) showing financial data for expense items like 運営費, 広報委員会費, 研修委員会費, etc.

平成25年度決算は、上記のとおり相違ありません。

平成26年4月22日

金計 飯藤 英美子

平成25年度会計監査の結果、適正に執行されていたことを確認しました。

平成26年4月2日

金計監査 西森光
金計監査 吉田隆政



報 告

5月18日(日) 於 県立体育センター 研修室

平成26年度事業計画

平成26年度 予算書

項目	本年度予算額	前年度予算額	増減	備 考
前年度繰越金	1,069,165	994,995	84,170	
一般会費収入	50,000	60,000	-10,000	県リーダー等会費
補助金(一般会費)収入	600,000	550,000	50,000	日本障害者スポーツ協会
賛助会費収入等	10,000	10,000	0	賛助会費等
雑収入	0	0	0	預金利息等
事業収入	1,729,165	1,604,995	124,170	

項目	本年度予算額	前年度予算額	増減	備 考
運営費	450,000	380,000	70,000	
総会費	120,000	100,000	20,000	総会開催経費
地域活動費	20,000	20,000	0	地域活動支援費
加盟負担金等	20,000	20,000	0	
会費	30,000	20,000	10,000	役員会、総務委員会開催経費等
インターネット管理費	20,000	20,000	0	
旅費通信費	170,000	130,000	40,000	会議等交通費、通信通信費等
事務消耗品費	60,000	60,000	0	消耗品購入費
雑費	10,000	10,000	0	雑込手数料等
広報委員会費	305,000	275,000	30,000	
印刷費	120,000	110,000	10,000	きずな印刷費
発送費	120,000	100,000	20,000	きずな郵送料等
会費	10,000	10,000	0	委員会開催経費等
旅費通信費	50,000	50,000	0	委員会交通費、連絡通信費等
事務消耗品費	5,000	5,000	0	消耗品購入費
研修委員会費	195,000	195,000	0	
講師謝礼等	30,000	30,000	0	講師謝礼、交通費等
講習会等開催経費	100,000	100,000	0	講習会等開催経費
会費	10,000	10,000	0	委員会開催経費等
旅費通信費	50,000	50,000	0	委員会交通費、連絡通信費等
事務消耗品費	5,000	5,000	0	消耗品購入費
競技委員会	105,000	85,000	20,000	
専重実施経費	30,000	10,000	20,000	講師謝礼、資料作成費等
備品購入費	10,000	10,000	0	競技用備品購入費
会費	10,000	10,000	0	委員会開催経費等
旅費通信費	50,000	50,000	0	委員会交通費、連絡通信費等
事務消耗品費	5,000	5,000	0	消耗品購入費
予備費	674,165	689,995	4,170	繰越金とまむ
支出の部合計	1,729,165	1,604,995	124,170	

【活動方針】

- ◎会員（公益財団法人日本障がい者スポーツ協会公認障がい者スポーツ指導員及び神奈川県障がい者スポーツリーダー）の指導力の向上
- ◎各地域における、会員の連帯による活動と親睦の活発化
- ◎県内の障がい者スポーツ事業に対する協力

【自主事業】

- ◎会報「きずな」（第41号・第42号）の発行…広報委員会
- ◎会員に対する研修会及び打ち合わせ等の開催…研修委員会
- ◎会員に対する講習会及び打ち合わせ開催…競技委員会

【協力事業】

- ◎神奈川県及び県内各地において実施される障がい者スポーツ事業（スポーツ大会、研修会、教室等）への協力（運営協力、講師派遣等）
- ◎全国障がい者スポーツ大会へのコーチの派遣
- ◎関連機関・団体への役員への派遣及び会議等への出席
- ◎障がい者スポーツ団体への支援、協力
- ◎『第16回世界作業療法士連盟大会』『第48回日本作業療法学会』へ協力

【地域活動事業】

- ◎秦野支部
 - ①秦野市障がい者スポーツ教室主催
 - ②秦野市障がい者フェスティバル主幹（委託業務）
 - ③秦野市障がい者フライングディスク大会共催
 - ④指導者向け研修会開催

【その他】

平成26・27年 新役員

顧問(前会長)	内野 慎吾		
会 長	牛島 秀保		
副 会 長	塩澤 哲夫	横川 光雄	
会 計	西森 光幸	熊沢 則江	
会 計 監 査	杉山 五月	飯沢 莊平	
	委員長	副委員長	委員
理事・総務委員会	赤坂美保子	佐藤英美子	
理事・競技委員会	隈元 英孝	石川 秀俊	
理事・研修委員会	山口 俊彦	近藤 和子	渡辺 勇
理事・広報委員会	益田 朋子	(県内特派員)	



新役員メンバー

ボランティア募集中

①「第2回 秦野市障がい者スポーツフェスティバル」

日 時：平成26年11月9日(日)

9:00 開始～13:00 終了

(ボランティア集合8:30～終了後の片付けまで)

場 所：秦野市総合体育館内各所

募集人数：60～70 (【茶付昼食】用意あり)

申込切：8月20日までに下記へ電話がファックスで。

昨年は午前・午後の一泊開催でしたが、第2回の今回は午前中です。ボランティアは、準備から片付けまでのため、昼食を用意しましたのでよろしくお願いいたします。

「きずな」39号4頁・40号3頁に記事がありますので参照してください。秦野支部長 赤坂美保子 Tel: 0463-81-0913

Fax: 0463-83-0810

②「障がい者スポーツ教室」〈卓球・サウンドテーブルテニス〉

日 時：平成27年2月12日(木)～3月12日(木)

毎週木曜日 12:00～15:00…各3名

活動内容：準備・片付け・ボール拾いなど(必要に応じ介助)

場 所：高座郡寒川町 総合体育館 メインアリーナ

毎年大会に向けて2月と5月に寒川町主催教室があり、そのお手伝いを行っています。ご協力頂けるかたはご連絡ください。

〒253-0105 高座郡寒川町岡田 2462-36



スポーツリーダー 鈴木みさ子

Tel/fax: 0467-74-2093

携帯電話: 090-8018-9159

委員会報告

総務委員会

委員長 赤坂美保子

引き続き総務委員長を務めてまいります。
 当協会の会員は神奈川県のみならず、全国に散らばっています。
 広報誌「きずな」を送後、宛先不明で戻ることが毎回数件有ります。住所変更等は必ずご連絡ください。
 会費の納入にもご協力下さい。
 【国登録】と【県登録】では金額・納入方法が違いますので注意して下さい。どちらの登録かわからない会員はお尋ねください。
 総務は事務局を兼ね、当会宛書類などすべて届き、会運営の根本に係っている大事な立場です。会についてわからない事、疑問等ありましたらお問合せ下さい。

研修委員会

委員長 山口 俊彦

前期の研修副委員長から今期は研修委員長となりました。
 私にはかなり役不足ですが、皆様方の障がい者スポーツ指導者としての活動に少しでも役立つような研修を企画、実施できればと考えております。今期は副委員長の近藤和子とともに前向きに動いて行きたいと思っておりますが、より活動を向上させる為にも是非、会員皆様方のお力添えを頂きたく、私共と一緒に活動して頂ける方を大募集しています。皆様方の豊富なご経験、お知恵を拝借させて頂ければ、その結果として会員皆様方のスキルアップに繋がるのではと考えております。少しでもご興味のある方は是非気軽に事務局迄ご連絡下さい。お待ちしております。

競技委員会

委員長 隈元 英孝

今年も引き続き頑張って計画します。
 参加して下さい。よろしくお願いします。

広報委員会

委員長 益田 朋子

会員の皆様には神奈川県各地、広くご活躍の事と嬉しく存じます。
 新星「きずな」を担当して10年余り、毎号討議を重ね、幾つかの新しい試みを現実のものにして参りました。読み人の皆様に
 いかにかの会を伝えるか？内容が濃くても手に取ってページを開いて貰えるか？生の声を聴きたくて陸上大会や研修会でのインタビュー、「新春対談」、支部活動などなど。振り返るとそれら葛藤と行動の歴史が思われます。

今回の広報委員会は「益田+県内特派員」で進行して行きます。
 会員からの活動状況・近況・ボランティア依頼など、生の声をお待ちしています。

《会員のための、会員による、手創りの会報誌》皆様と事務局・役員会のパイプ役になるよう頑張っております。皆様からの会費をもとに作成・送付される「会報誌」をお読み頂き、活用されますように願っております。

☆投稿歓迎☆（但し、誹謗中傷と読み取れる内容はお返しします）



編集後記

紫陽花の鎌倉は、テレビの影響もあってか日々にごわっています。そして、「きずな」がお手元に届くころは向日葵が元氣な顔を見せていることでしょうか。今回41号は、写真が綺麗にお届けできるようにレモンイエローに変えてみました。如何でしょうか？

神奈川県内に広く存在している会員の皆様に、当協議会のお知らせを届け続けておりますが、当協議会発会当初からすると多くの事が変わってまいりました。10数年前の事です。専属の事務局と正副会長を中心に回っていたシステムを廃止、総務・競技・研修・広報の4委員会を作り、副会長がそれぞれ2つの委員会を担当、その上に会長がいる図になりました。専属の事務局は廃止され総務委員長が事務局を兼ねる事となり、また、役員陣全員10名近くで集まり作業していた広報誌「きずな」の発送は、現在広報・総務委員会中心に手伝いに来て頂ける数人で行っています。3～5名で、朝から昼食を挟み夕方までの

1日作業です。仕事を休んで参加の役員、往復5時間近く車を運転してくる役員、家で待つ家族に弁当をつくってきた人など、まさにボランティア活動です。交通費実費+ペット茶しか出ないので、食品など持ち寄って頑張ってます。発送作業の大変さも、すべて終了した時の達成感でかき消され、参加者間で親しく情報交換出来る利便さはなかなかのもので。宛名を封筒に貼り、1枚1枚、心を込めて封筒へ。開封した時、手に取りやすく試行錯誤しながらの発送作業は広報委員長として楽しみの1日でもあります。1人作業の多い「きずな」編集ですが、この作業の日は朝から張り切って行動的になれる。それに付けても、宛先シールや、同封書類の印刷の世話、封筒を発送業者への引き渡しまで一人でこなす総務委員長には頭の下がる思いです。どうしても偏ってしまう会員の労働を正当に把握してもらいたいものです。今回量の多くなってしまった編集後記、ここまでお読み頂き有難うございました。
 次回もお楽しみに…。